

漁海況月報

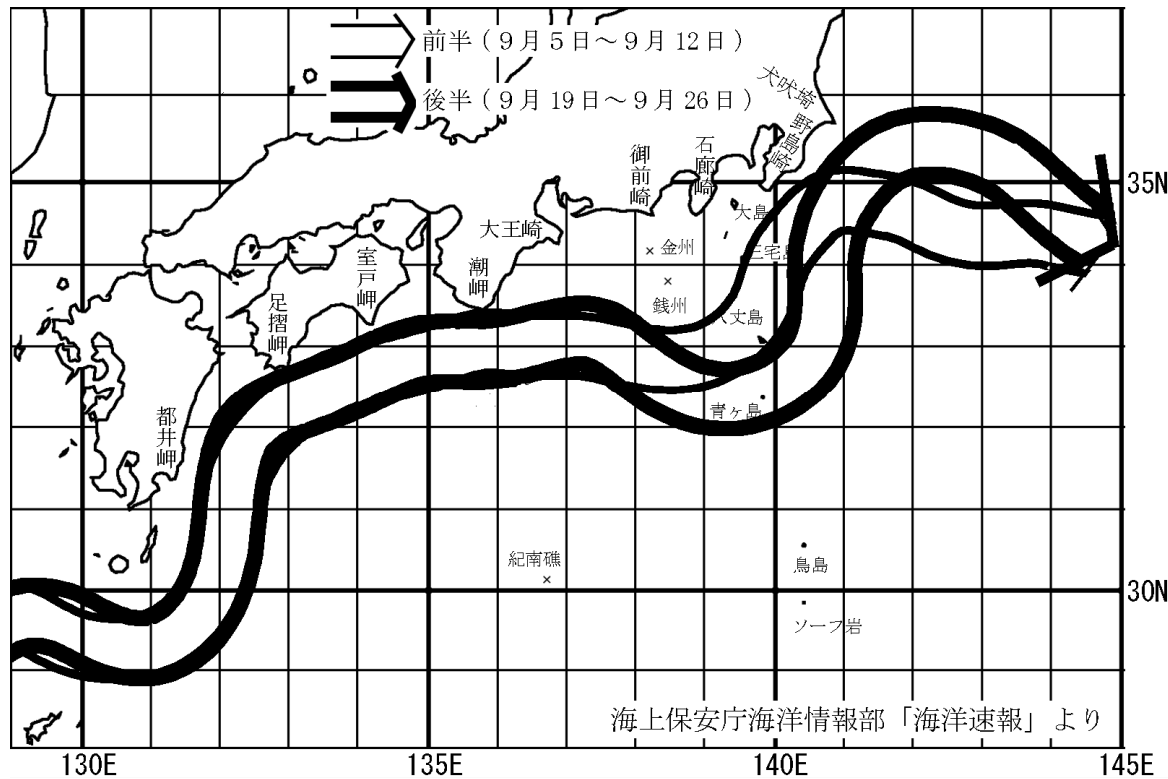
No. 9

平成18年 9月 1日

～9月31日

静岡県水産試験場
(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



2006年9月

定地水温の旬平均値 (°C)

(下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	25.2	25.6	25.8	26.0	25.0	25.8	25.7
	0.4	1.2	1.2	0.0	-0.7	0.4	0.3
中旬	24.7	25.2	24.8	25.5	25.8	25.5	24.7
	0.6	1.2	0.7	0.4	0.8	1.0	-0.1
下旬	24.2	24.1	23.8	23.9	24.0	24.2	23.6
	1.1	0.6	0.4	-0.4	0.4	0.8	0.0
月	24.7	25.0	24.8	25.1	24.9	25.2	24.6
	0.7	1.0	0.7	0.0	0.2	0.8	0.1

【黒潮流路】

潮岬以西では月を通して接岸傾向で流れた。

潮岬以東では、前半、遠州灘沖 33° Nを東進後、伊豆諸島海域を北上し房総半島南端に接近した後、34～35° Nを東方へ流れた。後半には、御前崎沖から南東に向かい、伊豆諸島海域を迂回するように、八丈島の南を通り、伊豆諸島の東側を北上し、房総半島に沿うように接岸傾向で流れた。伊豆諸島北部には、上旬前半に 27～28°C 台の暖水が分布したが、上旬後半から中旬には新島、神津島周辺に 25°C 以下の低水温が分布した。また、黒潮の蛇行に伴い中旬以降は駿河湾沖から八丈島西側にかけて 24°C 以下の低水温が分布した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 22～26°C 台、駿河湾東部では 23～27°C、西部では 23～26°C 台で経過した。平年に比べ、高め基調の平年並み～やや高めであった。上旬前半には伊豆諸島北部から 26～27°C 台の暖水波及がみられた。

【竿釣近海カツオ】

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は52トで前年同期の83%であった。魚価は251円/kgで、前年同期を上回った。中型竿釣船の記録(QRY)及び御前崎市場での調査によれば、9月上旬の漁況はおおむね以下のとおり推移した。36°～40° N、144°～147° Eで中、大、小、特大、極小カツオを中心に漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	水揚/隻(ト)	平均単価(円/kg)
18年9月上旬	23	6	3.8	262
	22	4	5.6	164
	7	5	1.5	477
18年9月計	52	15	3.5	251
17年9月計	63	18	3.5	222
16年9月計	46	17	2.7	263

【定置網】

平成18年9月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は189トンであった。操業がなかった赤石、川奈を除く1漁場当たり水揚量31.5トンは前年41.0トンの77%、平年値(昭和57～平成17年平均値)48.7トンの65%であった。

魚種別にみると、①サバ類56.8トン(A:前年同月比50%、B:平年同月比40%)②マルソウダ49.4トン(A:118%、B:85%)③オアカモロ20.8トン(A:351%、B:242%)④イサキ12.5トン(A:122%、B:150%)⑤ヤマトカマス12.3トン(A:316%、B:54%)の順に多かった。

サバ類はゴマサバ主体で、古網、谷津、伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは30cmと33cmにみられた。マルソウダは古網、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは24cmであった。オアカモロは赤沢、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは23cmであった。イサキは赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは16cmであった。ヤマトカマスは北川を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmであった。漁場別水揚量は、古網(58トン:マルソウダ、サバ類主体)、赤沢(43トン:オアカモロ、イサキ、サバ類主体)、北川(39トン:ヤマトカマス、マルソウダ、オアカモロ主体)の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港に水揚げされたゴマサバは、前月の水揚量(530トン)を下回る252トンであった。漁場は、新島瀬戸、大室出し及び三宅島周辺に形成され、2歳魚と思われる尾又長26~33cmの大きさのものを主体に34cm以上のものが混じって水揚げされた。1kg当たりの平均単価は38円で、安値であった前年同期(30円/kg)を上回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成18年 上旬	110	4	8	13.8	新島瀬戸、大室出し、三宅
9月 中旬	61	1	2	30.6	三宅
下旬	80	2	4	20.1	三宅
計	252	7	14	19.0	-----
平成17年9月	832	9	28	29.7	銭洲、中ノ瀬、三宅
平成16年9月	1,328	10	40	33.2	利島、新島、高瀬、三宅

水揚量は各旬で四捨五入しているため、計と一致しない

【シラス船曳網】

9月における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で266kg、遠州灘で380kgだった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は344kgと前年同期の59%、平年同期(過去5か年平均:326kg)の106%と前年同期を大幅に下回り、平年同期を少し上回った。また、総水揚量は882.7トンで前年同期の67.6%と大きく下回り、平年同期(787.4トン)の112.1%を少し上回った。平均単価は776円/kgと平年同期(837円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	76.1	20	262	291	658
舞 阪	290.5	19	752	386	722
福 田	227.5	20	528	431	739
御前崎	72.7	18	214	340	823
吉 田	131.9	16	397	332	766
静 岡	84.0	18	413	203	1,151
平成18年9月計	882.7	111	2,566	344	776
平成17年9月計	1,306.3	88	2,223	588	528
平成16年9月計	514.0	97	2,300	223	1,165

【まき網】

マイワシの水揚げは、小川港では158.7トンで平年同期(過去5か年平均:81.8トン)の194.0%、沼津港では142.0トンで平年同期(120.2トン)の118.1%とそれぞれ上回った。また、静岡港では12.5トンの水揚げがあったが、伊東港では水揚げがなかった。

カタクチイワシは、静岡港への水揚げはなかった。

【調査船の動向】

富 士 丸

8月23日 ~ 9月16日 三陸沖方面カツオ・ビンナガ調査

駿 河 丸

9月 1日 ~ 9月 1日 CTDテスト(駿河湾)(1日間)
 9月 4日 ~ 9月 6日 地先定線観測(駿河湾、遠州灘)(3日間)
 9月 7日 ~ 9月 8日 サクラエビ調査(駿河湾)(2日間)
 9月 11日 ~ 9月 12日 サバ調査(駿河湾)(2日間)
 9月 13日 ~ 9月 14日 サクラエビ産卵調査(駿河湾、遠州灘)(2日間)
 9月 19日 ~ 9月 20日 トラフグ調査(駿河湾)(2日間)
 9月 21日 ~ 9月 21日 ドッグ回航(1日間)